

小型機の航続性能と国際線の可能性

(全地航 平成 14 年度 研究調査報告書)

実際のルート距離は、下記要件のためかなり短縮されるため、あくまでも参考図

エアウェイ、ターミナル・プロシジャー、ルート上の制約

ウィンド・ファクター

実態にあった代替空港を選ぶ必要

エンジン 1 基不動作時の要件(60 分ルール)を満たすために迂回ルートの可能性

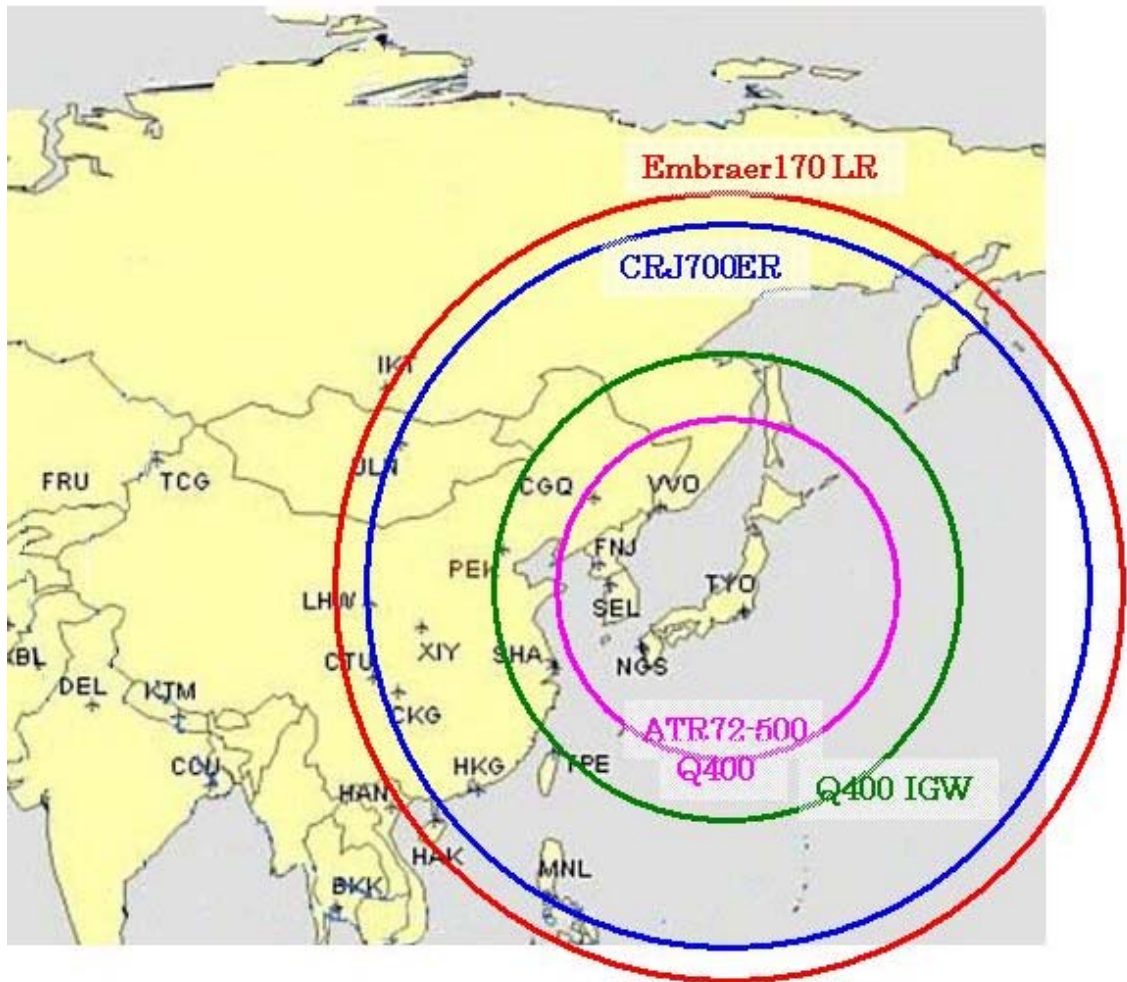


図 70 人乗り小型機材のレンジ・サークル図

エンブラエル 170、CRJ700 といったジェット機の場合、ロシア沿海州、韓国はもとより中国沿海部へも十分路線設定できると見られる。また、西日本からは更に台北、香港なども路線化可能なように見える。一方、Q400、ATR72 といったターボ・プロップ機の場合は、韓国、ロシア沿海州について国際路線可能と考えられ、Q400 の重量増加型では一部中国沿海部も視野に入れることができると考えられる。但し、ロシア沿海州についてはエンジン 1 基不動作時の要件クリアが前提となる。